SUS POWER AIR CLEANER CORE-TYPE　SUS POWER CORE TYPE LM　ADVANCE POWER AIR CLEANER

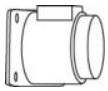
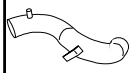
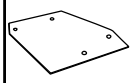
取扱説明書

この度は BLITZ AIR CLEANER を御買い求め頂き誠にありがとうございます。
作業に入る前に必ずパーツリストと照らし合わせ、部品がすべて揃っている事を確認して下さい。

■装着可能車輌■ 注）適合情報は変更される場合があります。詳しくは弊社 Web サイトをご覧下さい。
□車　　名：スイフトスポーツ
□型　　式：ZC32S
□エンジン：M16A
□年　　式：2011/12-
□製品番号：42175/26175/56175/59175

■重　要　事　項■　≪本製品を装着される前に必ずお読みください≫
□本製品はノーマル車輌を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングＫＩＴ、ブローオフバルブ等）を装着されている場合や事故歴のある車輌の場合は本ＫＩＴの装着ができない場合があります。
□本製品を上記車両以外に装着したり改造した場合、当社は一切責任を負いません。
□取り付け作業は平坦で安全な場所で、エンジンを完全に冷やし、パーキングブレーキ等をかけて車両を確実に停止させて行って下さい。一般道、交通の妨げになる場所での作業は行わないで下さい。
□車輌のバラツキにより、コンピューターセッティングが必要な場合もありますので、ご了承下さい。
□エアフロアダプター部のボルトの締付けトルクに注意して下さい。過度なトルクでの締付けは、破損の原因となります。

■アタッチメント部パーツリスト■

アダプター	エアフロアダプター	アルミパイプ	異径ホースφ65-60	ホースφ60	リザーバ移設プレート	φ10カラー	
1	 1	 1	1	1	 1	1	
M4皿ビス	M4ビス	M4スペーサー	エアフロプレート	φ8ゴムホース	シリコンホース	タイラップ	
2	2	2	1	1	1		
M6×15	M6ナット	M8×25	M8ナット	φ10ワッシャー	バンド(HS-40)	バンド(HS-36)	バンド（小）
6	2	1	1	1	1	3	2

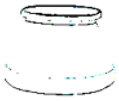
注）アダプターテープは SUS POWER LM キットのみ付属しています。

SUS POWER LM をご購入の方へ
■キット取り付け前に■
キットを取り付けする前にアダプターとコア本体を仮組みしてください。
アダプターとコア本体に隙間が多い場合は、アダプターテープをアダプター外周部に貼り付けてください。
アダプターテープ貼り付け後、再度コア本体を仮組みしコア本体が取り付けできる事を確認してください。
■メンテナンスについて■　〈商品メンテナンスの重要項目です〉
１）アダプターにコア本体を奥まで差し込んだ状態でバンドを締め付けてください。
２）フィルター部が汚れた場合はフィルター部とガスケットエレメントを交換（別売り）してください。
※弊社 SUS パワーウオッシャー、クリーナーメンテナンスキットは使用できません。
３）センターボルトは工具を使用せずに手で締め付けてください。
※推奨トルク 0.49～0.69N・m
※過剰な締め付けトルクによる破損につきましては、弊社は一切の責任を負いません。

SUS POWER CORE TYPE をご購入の方へ
■メンテナンスについて■　〈商品メンテナンスの重要項目です〉
１）定期的にコア本体を取外し、中性洗剤で洗浄してください。
※性能維持のために 5000Km ごとの洗浄を推奨いたします。

株式会社　ブリッツ　　URL　http://www.blitz.co.jp

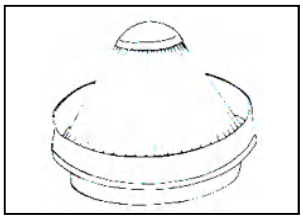
●ADVANCE POWER をご購入の方へ

■コア部パーツリスト■										
クリーナー本体		バンド		クーリングシールド		エンドプレート		ロックプレート		
	1		1		1		1		3	
M4六角頭ビス		M4六角レンチ		保護テープ(ﾌｫﾎﾟｿﾞ)		アダプターテープ(ﾋﾞﾆｰﾙ)				
	6		1		1	20mm×500mm	1			

※アタッチメント部パーツリストも合わせてご確認下さい。

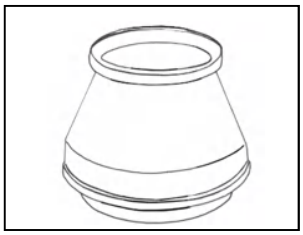
■コア部の組立手順■

手順１



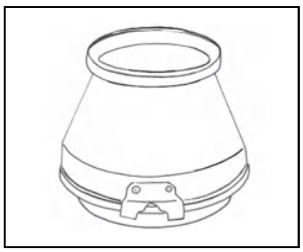
クリーナー本体にエンドプレートをはめ込みます。

手順２



手順１ではめ込んだエンドプレートとクーリングシールドをはめ込みます。
※ネジ穴を合わせて下さい。

手順３



ロックプレートを、M4 六角頭ビスを使用して組み付けます。
※M4 六角頭ビスを破損させないようご注意ください。
※定期的に増し締めを行って下さい。

※以上で、コア部の組立は終了です。

■アダプターテープの使用方法について■

キットを取り付けする前に、アダプターテープをキットパーツのアダプター外周部に貼り付けてください。
アダプターからコア本体が脱落するのを防止します。

■メンテナンスについて■　＜商品メンテナンスの重要事項です＞

フィルターの交換及び清掃に関して

●定期的にコア本体を取り外し中性洗剤で洗浄してください。
※性能維持の為に 5000ｋｍごとの洗浄を推奨致します。
※クリーナー部の汚れが酷い場合や破損している場合は、別売りのクリーナー本体をお買い求めください。

ご注意！　１）他社メンテナンスキット及び灯油等によるフィルター清掃はエンジン損傷の原因になります。
弊社の保証外にもなりますので、絶対に行わないでください。
２）ロックプレート取り付け／取り外しの際、M4 六角頭ボルトを破損させないようご注意ください。
弊社にて作業者のミスによる損傷と判断させて頂いた場合は保証外となります。ご了承ください。

■可変機構及びファンネルについて■

操作方法　ロックプレート固定用のM4 六角頭ビスを全て緩め、車体に干渉しない位置で締め込んで下さい。

ご注意！　１）車体各部に干渉しない位置に調整して下さい。
２）車体の経年変化及びバラツキによりクーリングシールドのファンネル部分が車体に干渉する場合があります。その際は、保護テープを貼るかファンネルを取り外してください。

株式会社　ブリッツ　　URL　http://www.blitz.co.jp

手順 1．ノーマルクリーナーの取り外し

作業前に、バッテリーのマイナス端子を切り離してください。
途中、冷却水の経路を切り離す作業があります。エンジンが冷えている状態で作業を行うか、冷却水の内圧を抜いた状態で作業を行うようにしてください。
1)リザーバータンク、エアクリーナー導入ダクトを取り外します。図 1 参照
2)エアクリーナーBOX を車両より取り外します。図中の〇印のボルトを緩めると取り外せます。図 2 参照
2)エアフロコネクタを切り離し、サクション部分ごとエアフロセンサを取り外します。図 3 参照
※ブローバイホースをサクションより切り離しておきます。図 4 参照
※ウォーターホースが接続されているパイプをホースごとサクションより切り離します。図 5 参照
3)エアフロセンサ本体をサクションから取り外します。図 6 参照

図 1

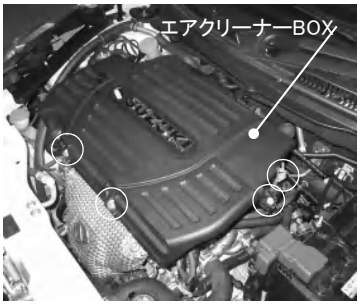


図 2

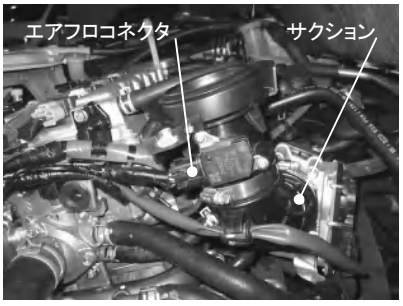


図 3

図 4

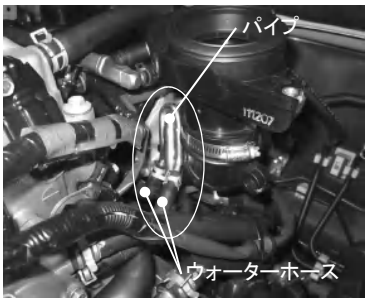


図 5

図 6

5)バッテリープラス端子を切り離します。図 7 参照
6)バッテリーステーを取り外し、バッテリーを取り外してください。図 7 参照
7)ECU カプラを切り離します。図 8 参照
8)ボルトを取り外し、バッテリーの受け皿を ECU ごと取り外します。図 9 参照
※ハーネス類がクリップで留められていますので、各部取り外します。
9)リザーバータンクが止められていたブラケットを取り外します。図 9 参照

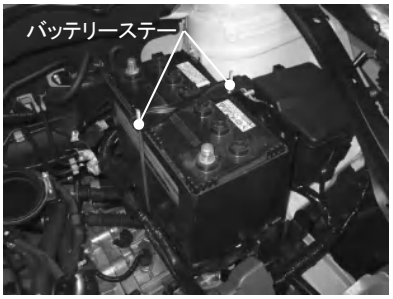


図 7

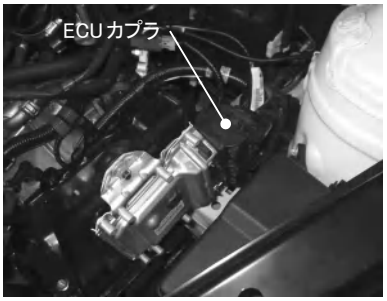


図 8

図 9

手順２．エアクリーナーの取り付け

作業は仮組みとし、全体の位置を調整しながら最後に増し締めしてください。

1)図 10 を参考にエアフロアダプターへ、エアフロプレート、エアフロセンサーを組み付けます。図 10 参照
2)図５でサクションから切り離したパイプをウォーターホースごとエンジンから取り外し、付属のφ8 ゴムホースへ付け替えます。図 11,12 参照
※クーラントが出てきます。ホースクランプやホースキャップ等を使い、片側づつ作業するなどしてクーラントの排出を最小限に留めます。
※予め、バンド(小)をホースに通しておくとスムーズに作業ができます。
3)スロットルへ異径ホースφ65-60 を仮付けします。バンド（HS-40）を使用します。図 13 参照
4)リザーバー移設プレートへ、図９で取り外したリザーバーブラケットを取り付けます。図 14 参照
※付属のボルト M6×15 と M6 ナットを使用します。
5)リザーバーブラケットを仮固定します。バッテリーの受け皿の固定ボルトを使用します。図 15 参照
バッテリーからの配線が干渉しますので、ブラケット側を逃げ加工します。図 16 参照
6)リザーバー移設プレートを車体と挟むように、バッテリー受け皿を固定します。図 17 参照
7)元のようにバッテリーを取り付け、プラス端子を接続します。プラス端子の配線が突っ張るような場合は、クリップを取り外し、固定位置を調整します。図 17 参照
8)バッテリープラス端子からヘッドライト裏への配線をタイラップで固定します。図 18 参照

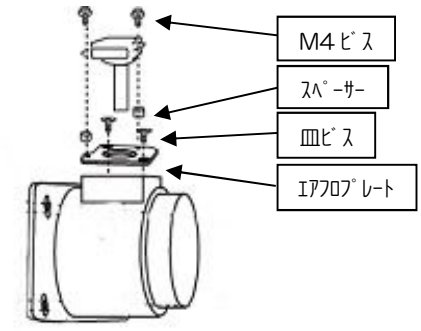


図 10

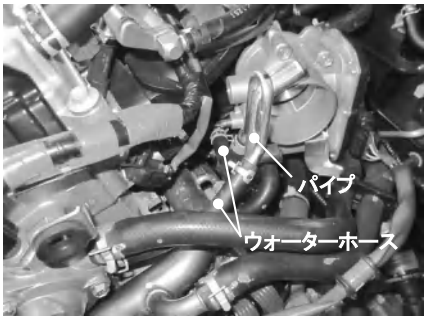


図 11

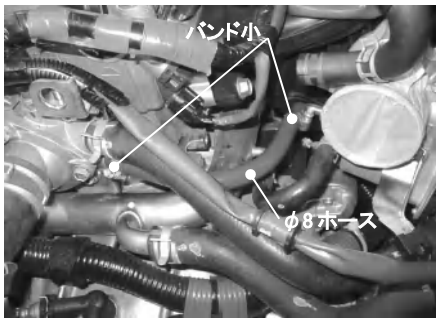


図 12

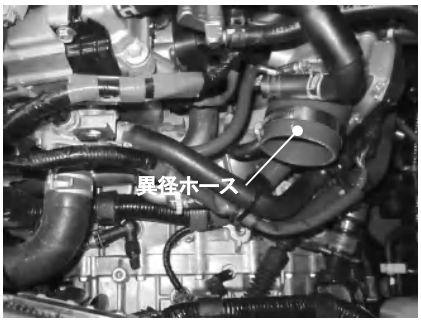


図 13

図 14

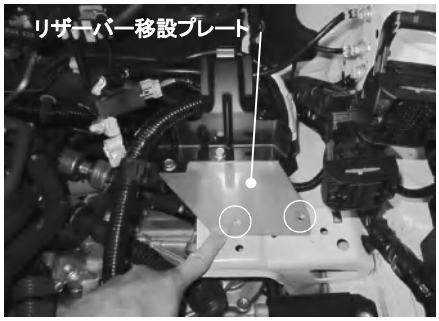


図 15

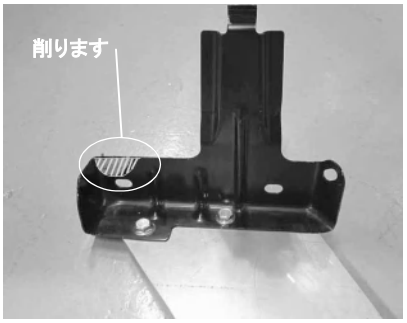


図 16

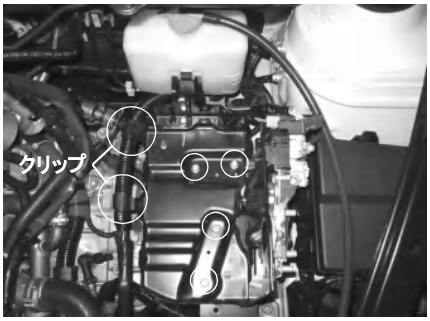


図 17

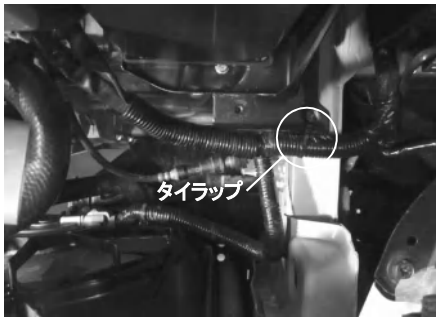


図 18

9)結束されているエアフロコネクタの配線をバラし、バッテリーのプラス端子付近まで伸ばせるようにします。
　露出した配線はビニールテープで保護してください。図 19 参照
10)付属のボルト M8×25 へφ10 カラーを通し、純正エアクリーナーの導入ダクトが留められていたブッシュ
　へエンジン側から通します。図 20 参照
11)ボルトと反対側から、付属のφ10 ワッシャーを通します。図 21 参照
12)アルミパイプを仮付けします。バンド（HS-36）を使用します。図 22 参照
※ステーは、前に通しておいた M8 ボルトへ付属の M8 ナットを使用して固定します。図 23､24 参照
13)エアフロアダプターへアダプターを取り付けます。付属のボルト M6×15 を使用します。図 25 参照
14)あらかじめ、コア本体をヘッドライト裏へ置いておきます。図 26 参照
15)ホースφ60 でエアフロアダプターをパイプへ接続し、コア本体を取り付けます。
　　バンド(HS-36)を使用します。図 27 参照
16)エアフロコネクタをセンサへ接続します。図 28 参照
17)ブローバイホースをパイプのニップル部分へ接続します。図 29 参照
18)ラジエターオーバーフローパイプとリザーバータンクを付属のシリコンホースで接続します。図 30 参照
各部に干渉が無いか位置を調整し、各部のボルト、バンド類を本締めします。以上で作業は終了です。定期的に干渉や緩みが無いか、各部の点検や増し締めを行ってください。

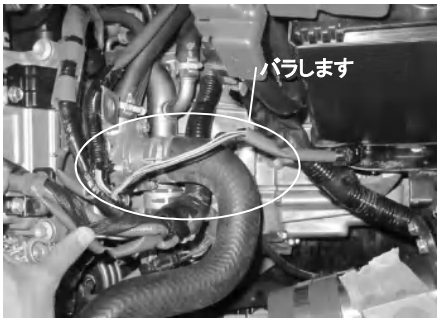


図 19

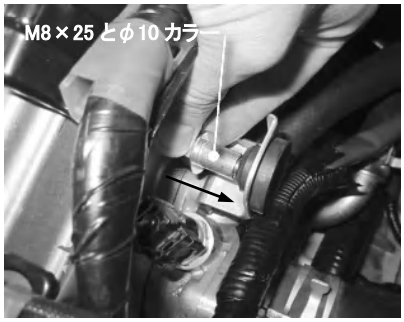


図 20

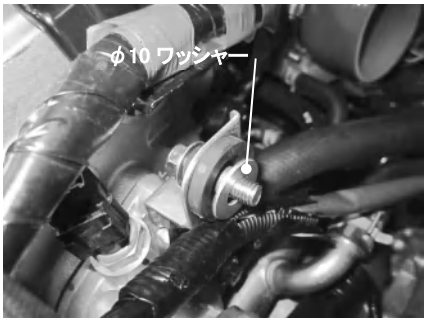


図 21

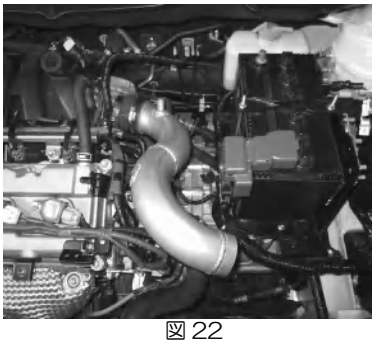


図 22

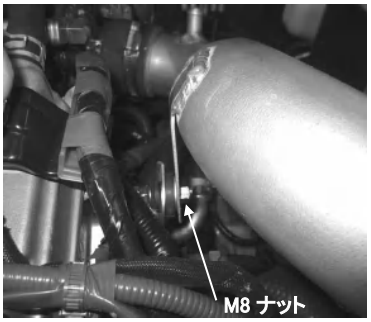


図 23

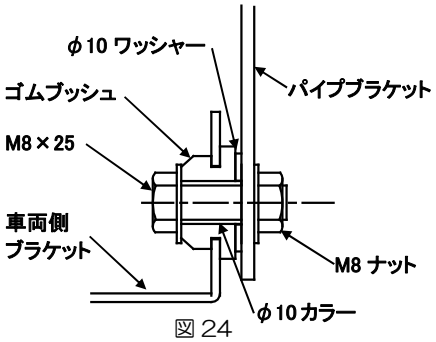


図 24

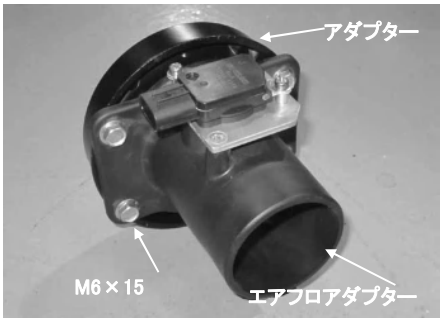


図 25

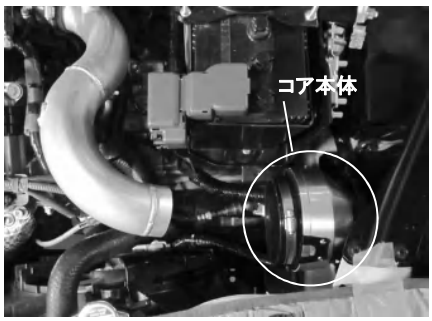


図 26

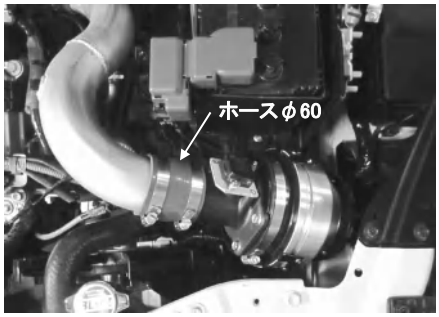


図 27

図 28

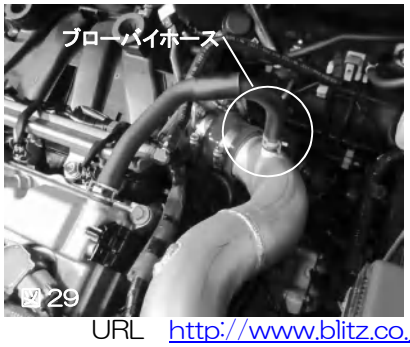


図 29

図 30

開発・製造・発売元　株式会社ブリッツ
所在地　〒202-0023　東京都西東京市新町 4-7-6
連絡先　0422-60-2277

取扱説明書番号　26175001
初版作製年月日　2012.10.1